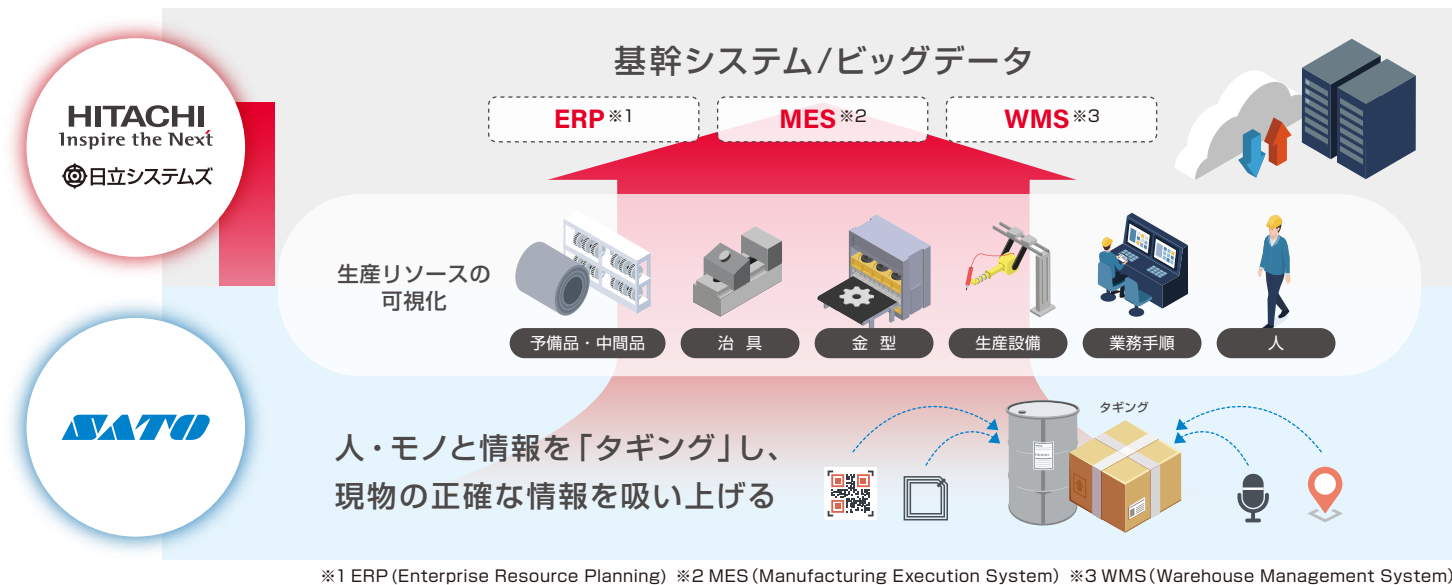


日立システムズとサトーの「製造現場」ソリューション



日立システムズの保守サービス

全国300拠点、24時間365日、
エンジニアがすぐさまお客さまのもとに駆けつけます。



データセンター

運用・監視センター

コンタクトセンター

▲ お客さまのビジネスを支えるサービスインフラ



サトーの会社概要

商号	サトーホールディングス株式会社 SATO HOLDINGS CORPORATION
創業	昭和15年(1940年)
設立	昭和26年5月16日(1951年)
代表者	代表取締役社長兼CEO 小瀧 龍太郎
資本金	84億円(2020年3月31日現在)
連結従業員数	5,429名(2020年3月31日現在)
連結売上高	1,164億円(2020年3月期)
事業内容	グループ経営戦略の策定・経営管理(純粋持株会社)

スローガン「Powered On Site」

あらゆるものを情報化して、社会のうごきを最適化する。

IoT、AI、ビックデータ。情報社会と言われる今だけど、
集めたデータの使い方が注目されていないだろうか？

世界のほとんどが、未だ情報化されていない現実を
SATOは自動認識ソリューションで変えていく。

あらゆるものや人に情報を紐付け、その動きを可視化することで、
現場ごとに最適な、課題解決の仕組みを提供する。

世の中の生産性を高め、安心・安全、持続可能にしていくのは、
目の前の小さな課題、ひとつひとつに向き合い、解決していく人だ。

現場から、世界を動かす方になる。私たちはSATOです。

株式会社 日立システムズ 本社: 〒141-8672 東京都品川区大崎1-2-1

お問い合わせは

商品のお問い合わせはこちらまで
www.hitachi-systems.com

0120-346-401

受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日は除く)

※本カタログに記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標、または商標です。
※本カタログに記載されている内容、仕様については、予告なく変更する場合があります。
※本製品を輸出する場合には、外国為替および外国貿易法ならびに、米国の輸出管理関連法規などの規制を御確認の上、必要な手続きをおとりください。
なお、ご不明な場合は、当社営業にお問い合わせください。

2020.07.03 C20_0030_v1

HS0-1266-3.1 2020.05
Printed In Japan

製造現場向け デジタルサービス&ソリューション

HITACHI
Inspire the Next

SATO
Powered On Site/
ビジネスパートナー 株式会社サトー



株式会社 日立システムズ

Human * IT

“見える化”から始まる現場改革で、生産効率化を支援！



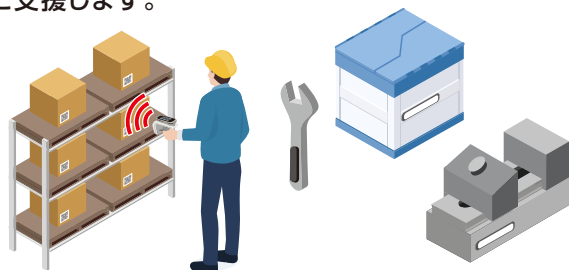
ソリューションのステップ

L1 見える

① 金型 / 予備品見える化

金型・予備品をさがしあわすムダをなくしたい

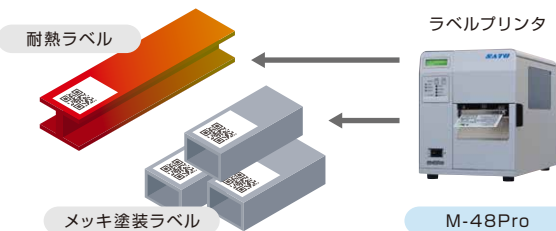
台帳整備・現物確認により実態の把握をご支援します。



② コード・ラベル選定と運用

自動認識、運用を効率化したい

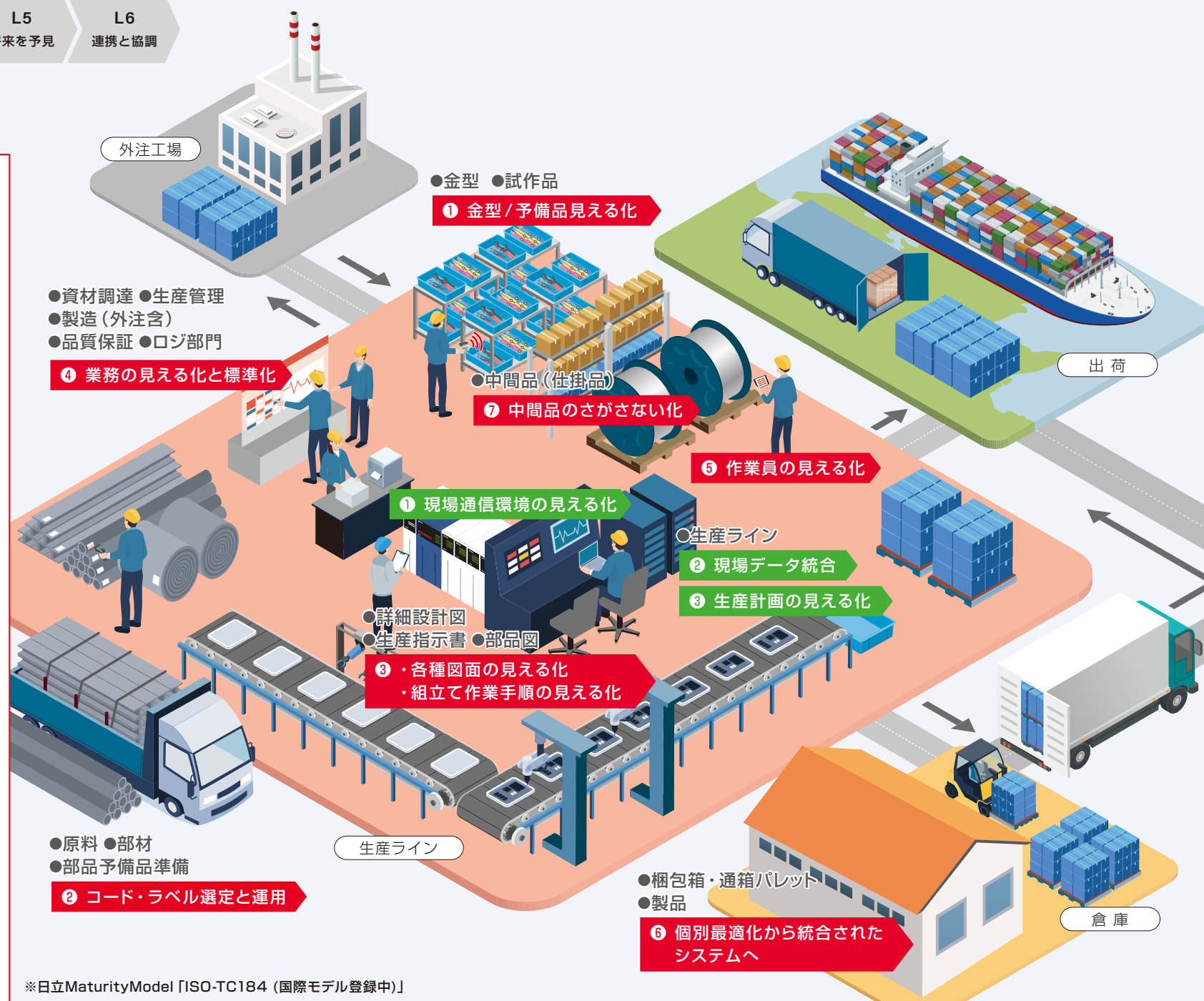
お客さま環境に沿った管理ラベル・タグを選定、印刷します。



③ 各種図面の見える化 ・組立て作業手順の見える化

属人化した作業手順をやめたい

作業員の業務やスキルの偏りを防ぐための見える化をご支援します。



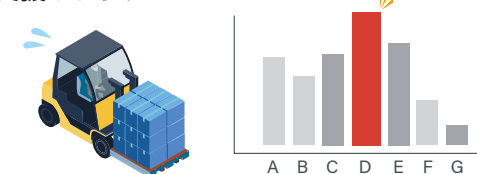
※日立MaturityModel「ISO-TC184 (国際モデル登録中)」

L2 つなげる

③ 生産計画の見える化

生産リードタイムの短縮 (属人化) を図りたい

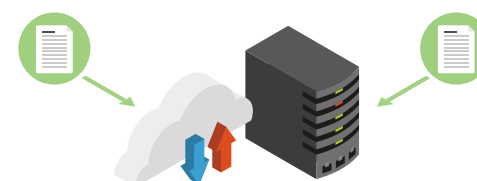
属人化している生産状況の見える化をご支援します。



② 現場データ統合

部門ごと (外注含む) の、データ入力の手間を省きたい

部門ごとに個別最適化されたデータを統一します。



① 現場通信環境の見える化

通信環境を強化・増設したいが、現状が分からずスムーズに移行できない

通信環境をマッピング・見える化し電波環境評価と構築、工事を行います。



④ 業務の見える化と標準化

業務の属人化をなくしたい

現状の業務運用を確認し、業務改善計画書を作成します。



⑤ 作業員の見える化

・作業の現状が見えない
・事故を防止したい

作業員の動線や実施業務、状態を見える化、危険領域などでの安全管理をご支援します。



⑥ 個別最適化から統合されたシステムへ

・台帳と工場内の在庫があわない
・部品融通の仕組みがない

管理業務の一元化をご支援します。



⑦ 中間品のさがさない化

・さがすのに時間がかかっている
・どこにあるか分からない

位置測位技術により中間品のロケーションを自動認識します。

